中谷

のか。『不識塾』での二か月にわたる 異色の大統領は世界をどう変える 「資本主義の転換」に関する議論を 『不識塾』塾長の中谷巖がまとめた。 踏まえ、「トランプ後の世界」について いよいよトランプ政権が発足する。

衆との分断だ。 ンにも拘らず、トランプが勝利 ビ・新聞の大々的な「反トランプ」キャンペー 弊した中西部の分断であり、エリー あり、グローバル化で潤う東西両海岸と疲 からだ。それは、富裕層と貧困層の分断で れだけアメリカ社会の「分断」が深刻だった レクトネス)を著 いわゆる「政治的常識」(ポリティカル・コ しく逸脱した言動や、テレ したのは、そ

されて当選した。果たしてトランプ政権は その期待に応えることができるのか。 トランプはその分断を打ち破ると期待

続くか?「トランプ・ラリー」

市場」「親富裕層」的だとみなされたため の政策がことごとく「親ビジネス」「親金融がこのような反応を示したのは、トランプ 株価も史上最高値をつけたが、金融市場トランプ当選後、ドルが急騰、ダウ平均

> に「オバマ政権とは違う」という期待を抱がノミクスの再来を思わせる内容は投資家 だ。大型減税、大型インフラ投資など、レ

「分断」は是正されない

からだ。 高はアメリカの輸出競争力を低下させる 減税と公共投資で財政赤字が膨らみ、ドル 子の赤字」の拡大をもたらすだろう。大型 場優先」「富裕層優遇」だからである。 えない。トランポノミクスの基本は「金融市 が米国社会の「分断」を是正させるとは思 大衆受けを狙った保護主義的言動も目立 カーのメキシコ立地に待ったをかけるなど、 を活性化させたが、他方では、自動車メー く、やがて財政赤字と貿易赤字という「双 トランポノミクスはレーガノミクスと同じ たしかに、トランポノミクスは金融市場 しかし、輸入課徴金や「メキシコとの壁」

て「根拠のない甘い期待」は禁物だ。 も続くわけではない。トランプ政権に対し 「新・プラザ合意」はあり得ない。トランポノ 意(ドル大幅切下げ)で乗り切ったが、今回 ミクスの出口はあまりにも不透明だ。 は日独両国に当時ほどの経済余力がなく、 いずれにせよ、トランプ・ラリ ガン時代の「双子の赤字」はプラザ合

一般社団法人 不識庵 所 在 地 東京都千代田区内神田1丁目14番4号 活動内容 世界と日本を考える真のリーダーを育成する「不識塾」 中堅ビジネスリーダー向け「青天白雲塾」、企業研修(受託)

お問合せ office@fushikian.jp

www.fushikian.jp